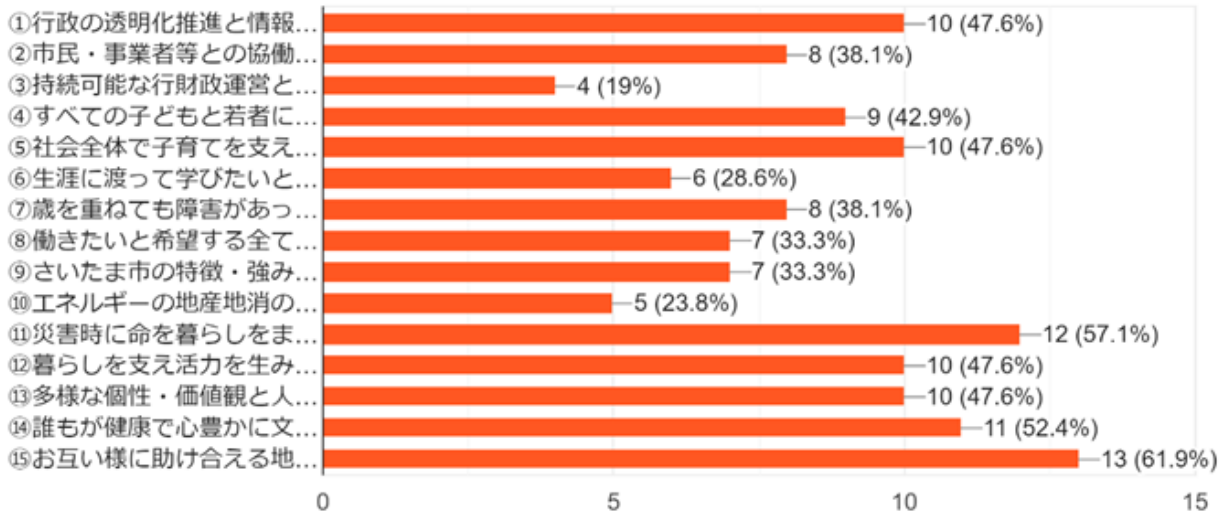


アンケート結果

【1】任期後半の2年間で、特に力を入れてほしい政策をお選びください。(複数回答可)

21件の回答



【2】最も重視する政策を上記の①～⑮から選び、ご記入ください。また、その政策の内容についてご意見・ご要望がございましたらお書きください。

⑤:学童の充実、子どもたちの「ふるさと作り」への注力 (30代女性)

⑥:生涯学習 (50代男性)

⑦:高齢者、障害者(介護、福祉制度におけるさいたま市独自で制定可能な分野の充実) (40代男性)

⑨:さいたま市は医療・観光・文化・大規模ホテル等の宿泊施設などの都内依存が強く、ポテンシャルが活かされていないと思う。これから生き残る自治体となるためには、これらの不足している部分をどのように整備し、活性化させていくのかが喫緊の課題となると思っている。(40代男性)

⑬:ジェンダー平等、男女共同参画について、さいたま市として先進的な整備を行った上で、その視点を災害対策や保健福祉支援に反映していただきたくことを期待しております。また、学校教育や子育て、福祉、高齢者に関する事業から抜け落ちている世代に向けた何かしらの目標があれば、提示していただきたく思います。(20代女性)

⑮:各論を重ねることよりもビジョンを共有し、そこに向かって市民・行政が自主的に動いて行くことが重要である、と考えているので。(40代女性)

(その他)

- ・交通体系の構築と都市基盤の構築(基幹道路でも歩道がない) (70代男性)
- ・市民が気軽に使用できるグランドやフィールドが増えること (60代男性)
- ・自分は今、子育て、生活、仕事など全てにおいて中心的に関連しながら生きているので、報告頂いたほぼ全てに他人事ではないと感じました。民主さいたま市議団の皆様が多岐にわたり政策計画、実施して頂いている事に感謝致します。最も重視することを選べないので自分の町で生活することに、喜び、誇りを持てるように、地域の魅力を住民が共有し、協力して暮らせるように、そして、感謝が溢れる町にして頂けるような運営を期待します。(40代男性)

【3】ご意見・ご感想等があれば、ご自由にお書きください。

- ・参加者に評価を求めるのであれば、事前に送付された多種の資料が夫々何の為に送付されてきたのか、説明が必要と考えます。また、送付された資料の枚数も多量にあり、全て印刷するわけにもいかず、画面は1つしかなく、オンラインで流れる画面を見ながら途方に暮れてしまった。参加する方も、何を根拠にどのように評価すればいいのか、事前に評価する準備が必要なようです。(70代男性)
- ・引き続き、皆様のご活躍を応援しております。私もさいたま市の市民として何ができるかを考えながら動いていきたいと思っています。ありがとうございました。(20代女性)
- ・良い機会をありがとうございました。牧瀬先生もおっしゃっていましたが、マニフェストを掲げて報告会・講評までしているのは素晴らしいことだと思うので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。(40代女性)
- ・今回初めて、報告会に参加しました。民主改革が真摯に取り組まれ、実現をされているのに、感銘を受けました。(50代女性)
- ・選挙での投票率の低下が言われています。地域で社会を支える多くの人材が生まれるためには、若い世代に政治や選挙に関心を持ってもらうことが大切と考えます。人口減少により、行政は財政も人員の確保も難しくなっていくと考えます。そのような状況において、地域社会を支えるには、市民の協力は不可欠です。直ちにさいたま市における課題解決や皆様の票には繋がらないかもしれませんが、子どもたちはじめとした若い世代の方との交流の中で、地域の課題や政治に関心を持ち、行動できる人材を一人でも多く輩出していただけたらと存じます。そのことが、将来の活気あるさいたま市を生むことに繋がると信じるしだいです。(40代男性)
- ・なかなか web 生配信は予期せぬトラブルが発生してしまうなど難儀な点も多いかと思いますが、コロナ禍でなくても web なら視聴可能な方も多くおられると思いま

すので継続して頂けたら幸いです。また、市議団の皆様の更なる御活躍を祈念申し上げます。(40代男性)

- ・こういった報告会に参加したのは初めてなのですが、とても分かりやすかったです。お疲れ様でした。ただ、今回の市政報告会の参加者に若者がどのくらいいたのか気になりました。今後、会派として、さいたま市の若者が市政に対して興味を持ってもらう為にどうするべきかを考えていただけたら嬉しいです。(10代男性)
- ・何度か報告会にも参加させていただいていますが、しっかりと準備をされていて、分かりやすい報告会にするためのご苦労を感じております。本当にお疲れ様です。今回のようにオンラインで開催するのは参加者の反応も分かりづらく、本当に大変だと思います。評価シートを提出してもらうというのは、とても良い取り組みだと思いますが、しっかりとマニフェストを読み込み、尚且つ議会の傍聴に行ったり活動報告書等を読み込んだりしていないと、まさに感覚的に点数付けを行う通知表になってしまうと思います。評価シートという形よりは、住民からの率直な意見や会派に対してどのような評価を持っているのかが分かりやすく回答できるマル・バツ方式の方が良いのではないのでしょうか。それぞれの項目の中で、会派として伝えたい内容を細かく記載して、マル・バツを付けてもらえば、住民が考えている会派への評価が見えてくると思います。(40代男性)
- ・さいたま市は合併により政令指定都市になった市。それぞれの旧市の特徴が見えにくい。また、合併した目的が政治的であり、在民の意見が反映されなかったという背景を現在もひきずっています。旧市としてのプライド意識やライバル意識もあり、政治に複雑な街です。このような状態はまだまだ二十年くらいは持続すると思います。したがって、政治も行政もバランス技術が必要です。オンライン化による政党としての報告会はその意味においてとても画期的であり、重要ですね。今後においても開催されることを望みます。ありがとうございました!!(70代男性)